

令和4年度「アウトリーチ（訪問支援）研修」 実地研修計画書

【1. 機関・団体概要】

機関・団体名	特定非営利活動法人 わたげの会 (社会福祉法人 わたげ福祉会)
機関・団体代表者 (役職・氏名)	理事長 秋田 敦子
所在地	〒980-0001 仙台市太白区八本松一丁目 12-12 (わたげの会) 〒984-0823 仙台市若林区遠見塚一丁目 18-48 (わたげ福祉会)
電話番号／FAX番号	022-285-3531 / 022-285-7505 (わたげ福祉会)
HPアドレス	http://watage.or.jp
研修実施場所	団体所在地と同じ
研修実施場所の最寄駅	地下鉄南北線 長町一丁目 (わたげの会) 地下鉄東西線 薬師堂駅 (わたげ福祉会)
団体概要 (設立趣旨等)	障害者、不登校、ひきこもりの青少年、その家族が社会から孤立しないための包括的支援を目的としたネットワークを構築し、社会との接点等の社会参加や自立支援のための相談、家族支援、就労支援、居場所提供を行い、お互いが助け合い、生きがいを持って生活を営むことができる地域社会の構築に寄与することを目的としています。
職員数	法人全職員数 50名 (内訳：常勤 40名 / 非常勤 10名)
機関・団体の アウトリーチの特徴等	平成9年設立当初から、ひきこもり等による困難を有する子ども、若者及びその家庭に対し面談を継続的に行いながら、必要に応じてアウトリーチを行い家族以外の人と交流できる居場所（フリースペース）や、社会参加及び自立に向けた支援を実施している。また当事者支援だけでなく、家族支援に力を注ぎ、個別相談とグループワークを毎週一回行いながら、家族、支援者、関係機関が連携しながら支援を行っている。
機関・団体で運営している 相談・支援機関名	厚生労働省委託事業：せんだい若者サポートステーション
	：仙台市ひきこもり地域支援センターほわっと・わたげ
	：宮城県ひきこもり地域支援体制推進事業南支所
	居場所支援事業：フリースペース第1・第2 フリースペースなとり

【2. 令和3年度中のアウトリーチの実績概要】

令和3年度アウトリーチ件数は136件で、本人対象が54件、家族等対象が82件となり、支援方法は家族に向けた訪問を入り口として、本人支援を対象とした訪問に結び付けて行くようにしています。

【3. 過去2年間における子供・若者の支援に関する研修実績】

仙台市ひきこもり相談会（延べ15回） 法人内家族研修会（一泊二日1回）・家族教室（延べ79回）
「社会福祉法人で生きるユニバーサル就労」「中間的就労オンライン研修会」「中間的就労のネットワーク作りについて」（人数35名）

【4. 過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

厚生労働省委託事業「せんだい若者サポートステーション」
宮城県委託事業「宮城県ひきこもり地域支援体制推進事業南支所」・「宮城県ひきこもり居場所支援モデル事業業務（南部圏域）：フリースペースなとり」
仙台市委託事業「仙台市ひきこもり地域支援センター」・「青年社会参加事業」「地域活動支援センター」

【5. 実地研修責任者・担当者】

	実地研修での役割（実施責任者・担当者等）	・保有資格（アウトリーチ関連） ・アウトリーチ経験年数
1	理事長・コーディネーター	交流分析士・アウトリーチ25年
2	センター長・コーディネーター	児童発達管理者・22年
3	相談員・コーディネーター	精神保健福祉士・17年

【6. 研修生の受入条件】

	受入条件
受入可能日数	10日（活動日数）
受入可能日程	10月3日（月）～12月16日（金）までの10日であれば、研修生の希望日によろしいです。
受入可能人数	2名ずつの参加で、2～3回の受け入れは可能です。
保有資格（アウトリーチ関連）の要否、その他の受入条件	資格は問いません。

【7. 実地研修内容】

実 地 研 修 内 容	
※下記の「初日」～「最終日」までの研修内容については、過去の実績に基づいた予定となります。	
実地研修全体の概要	アウトリーチの同行や事例解説、当法人が運営する施設（居場所支援や若者サポートステーション等）における当事者対応、家族支援、関係機関連携、円滑なオファーやリファーについて研修を行う。
研修初日の開始予定時刻	10：00 開始
研修最終日の終了予定時刻	16：30 終了
2日目以降の研修開始時間	10：00 開始
2日目以降の研修終了時間	17：00 終了
初日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・法人概要、事業概要、研修内容、留意点等についての説明 ・研修生の自己紹介、職務内容等の説明を受ける ・当法人の支援又は相談の対応方法についての説明 ・各相談支援施設等についての説明
アウトリーチ（訪問支援）を実施しない日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援について事前学習 ・家族勉強会への参加 ・居場所支援現場におけるのメンバーとの交流
アウトリーチ（訪問支援）同行日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・同行当日、訪問スタッフとの事前打合せ ・訪問時に本人観察と家庭の様子の観察 ・訪問先から戻って、スタッフと振り返り
最終日の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の振り返り ・訪問時における自分の立つ位置や、言葉の重要性を振り返る ・訪問に至るまでに準備することや把握しておくことの確認
実地研修でのアウトリーチの回数（予定）	10日間で2回～3回の訪問の予定だが、直前に変更になる場合もある
研修生の宿泊について	指定なし
休業日について	土 ・ 日 ・ 祝日
備考欄（服装等）	作業やスポーツプログラムもありますので、運動しやすい服装と運動靴持参してください。